

# モザイク通信

No.125

August 2022

発行：モザイク会議 議長 森敏美

モザイク会議事務局：〒185-0012 東京都国分寺市本町 4-12-4 司アートシティ 104

モザイク会議ホームページ：<https://maa-jp.com/> Email：[maaj@maa-jp.com](mailto:maaj@maa-jp.com)

編集／作成：モザイク会議運営委員会

## 2022 年企画展申込締め切り

11月に銀座のギャラリー檜 e・F 檜で開かれる「モザイク展 2022-色からの連想」の申し込み期限は 9月 25日です。

申し込み用紙の送付は庶務補佐の小田宛にお願いします(出品要項の記載漏れでした)。小田の住所は要項の一番下に記してあります。

振り込み先は以下のとおりです。会員の出品料は 1万 5千円です。

振り込み先

ゆうちょ銀行口座記号：10000 番号：97185511 モザイクカイギ

他銀行からの振り込みの場合は以下になります。

ゆうちょ銀行店名：008 (ゼロゼロハチ) 店番：008

普通預金口座：97185511 名義：モザイクカイギ

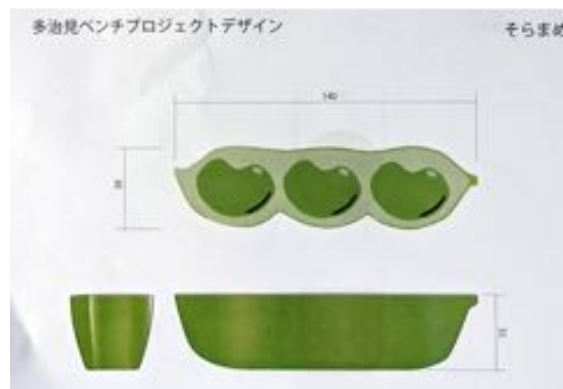
## 多治見ベンチプロジェクト

多治見ベンチプロジェクトのデザインがきました！

ベンチのデザインは 5人から、13の案の応募がありました。モザイク会議運営委員会と多治見モザイクタイルミュージアムの理事が選考にあたり、岩田英雅さんの「柿」と河原拓巳さんの「そら豆」の 2案が選ばれました。



岩田英雅さんデザイン「柿」



河原拓巳さんデザイン「そら豆」

8月15日から19日まで府中市の会場でベンチの土台作りとタイル張りを行います。9月3日、4日は多治見市モザイクタイルミュージアムで来場者に手伝ってもらってベンチのタイル張りを行います。 <https://www.mosaic-tile-museum.jp/wp/wp-content/uploads/2022/07/7d9ff50cac451095ec620c5dcd819331.pdf>

## Mosaic art project Cakera について

張未怜

「モザイク・アートプロジェクト・カケラ」というのは、日本におけるモザイク美術の普及、宣伝、記録、保存、継承、創作などの活動を補う為に宮川雄介さんが中心となってやっている一連のプロジェクトです。コロナウイルスの蔓延による緊急事態宣言や蔓延防止策などの中、自由なアート活動がままならない状態が続き、家に籠る日々の中で何か出来る事が無いかと話していた中で、モザイクについての総合的な情報を載せるためのウェブサイトを作ろう、という動きから色々が始まりましたが、まだまだこれから、といった感じではあります。



「モザイク・アートプロジェクト・カケラ」ホームページ <https://mosaic-artgallery.tokyo/>

ホームページの大まかな形は宮川さんが作り、私や他のメンバーが記事や自分の作家ページを作成しました。このために何度か勉強会も行いました。私自身、何か新しい事をしたい気持ちはあったものの、日々に追われ、思うように何も出来ずにいたこともありましたが、コロナ禍の中で何かと落ち込んだり体力や気力の湧かない時期でも、web活動なら参加できると思ったのもありました。この活動に携わることによって、ホームページの作成、ウェブの記事や動画の編集など、ずっと興味があった分野を掘り下げることが出来ましたし、何よりモザイクについて学び直すきっかけにもなりました。

自分達が自由に活動していくには、もっと広く世間にモザイクについて知ってもらう必要があり、今ある日本各地のモザイクを認知してもらい、可能なら保存していきたいという思いを持つ方々と連帯しあい、さらに新しいモザイク制作にも繋がっていったらいいなと思います。

このような活動は一人ではとても出来ませんが、誰かと力を合わせることで色々なことが可能になると思っています。まだ形としてあるものは少ないので、共感してくださる方がいらっしゃいましたら、ぜひお仲間に入っていたきたいです。



Podcast 収録風景

今年の3月21日春分の日に Podcast 番組も配信を始めました。Podcast というのは、ネット配信するラジオのようなもので、パソコンやスマートフォンなどのモバイルデバイスから視聴できます。番組は、聴きたい人が好きな時に好きなものを選んで無料で聞くことが出来ます。私はこの Podcast が好きで、色々な番組を視聴してきましたし、多くの方が自由に（とてもマニアックに）番組を（無料で）作成され、配信されていることにも興味がありました。

そのことをとあるきっかけで会員である瀧山一弘さんと話した時、「ちょっと一緒に作ろうか」となり、宮川さんをお迎え、3人で始めることになりました。Podcast は主に瀧山さんが編集を行っていて、その仕事はとてもスピーディで的確です。エピソードも順調に回を重ねていっています。この番組制作のおかげで、さらにモザイクについて広く学び直すことが出来ています。結構今までサボってきた学びでもあるので、個人的にはとても意義があるように感じています。



モザイク会議の会員の皆様、もしよかったらゲストにいらして一緒にお話ししていただけないでしょうか？ よろしくお祈りいたします。

ウェブサイト：<https://mosaic-artgallery.tokyo/>

ポッドキャスト：「モザイクのカケラ」（上記ウェブサイトにApple、Spotify、Google のリンクあり）

## そうう 蒼宇モザイクの変遷 前編

原 恒夫 タイルモザイク作家

旗野蒼宇先生は戦前から、新宿伊勢丹百貨店で着物のデザイナーをしていました。洋装より和装の女性が多い時代で、当時の百貨店のメインイベントは春秋の新作着物発表でしたので、そのデザイナーも花形の職業でした。戦時中は横須賀の海軍工廠での任務の傍ら、画材の入手が困難だった事もあり卵殻モザイクを制作したのがモザイクとの出会いになりました。戦後、GHQ（アメリカの



進駐軍)に新宿伊勢丹百貨店の建物を占拠されてデザインの仕事が出来なくなったり体調を崩したりして退職してしまいました。

その後石本先生の元でタイルモザイクの技術を学び日本手工芸美術展審査委員やクラフトマン協会の副会長を歴任、簗野蒼宇の雅号から「蒼宇モザイク」と名付けて東京、千葉、神奈川、埼玉で教室を開きました。文部省が国民の余暇をもっと文化的に過ごせるようにと「余暇文化振興財団」を発足、その一環としてタイルモザイクの指導者の育成を簗野先生が担当し教室開設者を育てました。

欧米では、タイルモザイクは知的障害者の心身の発達に効果がある事で知られています。色彩豊かなタイルを扱うことで気持ちが明るくなり、タイルをカットする時のリズム感、ピンセットを使ったり、ボンドで接着したり、目地を入れたり作業の流れの中で集中力、達成感、手指の神経の発達などを促すとされ江戸川区から依頼を受けて指導、後に横浜でも長い間数ヶ所の施設での活動に関わってきました。



江戸川区 障害者指導

自宅の葛飾区新小岩教室では、テレビ朝日の「独占!女の60分」でタイルモザイクが取り上げられました。土曜のお昼に放映された水の江瀧子、丹下キヨ子、宮城千賀子など辛口のベテランコメンテーターが出演する人気バラエティー番組で、タイルカッターを初めて持つタレントが一生懸命にタイルモザイクを作る様子が放映されました。初心者向けの簡単なデザインを勧めたのですが、難しい作品を四苦八苦して作る方が面白いということで「インディアンの娘」という中級者向けのデザインに決まりました。視聴率が高い番組だったので、大きな反響があり教室の受講者数も大きく伸びました。



壁面モザイクは、喫茶店や鮨屋などの屋内モザイクや、東京都江戸川区立松江第一中学校の屋外モザイクを制作しました。屋外モザイクは江戸川の鷺や蓮のモチーフをパーツ毎に作り、屋外壁面に貼り付ける工法を簗野先生が考案して制作しました。 <つづく>

松江第一中学校

## 展示の報告

櫻井拓也     アウトロウモザイク制作者

6/8（水）～6/19（日）まで、東京都小平市鷹の台駅近くにある、昨年オープンしたカミカワハウスというギャラリーで展示を行いました。

このギャラリーで行った理由として、吊り下げのワイヤーはありませんが、板と漆喰でできた白塗りの壁にピンを打ち込み、30kg程度なら壁に掛けられる事と、立体を設置する場所と展示台があった事、床がワークショップを行える板敷だった事、都心から距離はありますがレンタル料がリーズナブルで、玉川上水沿いの景色も良かった為です。

私個人の作品展として、平面のみの展示を行った事はありませんでしたが、今回立体と合わせる事ができ、全体のボリュームが増して良かったです。

また、モザイクを知らない来場者の方向けに、モザイクの歴史など画像入りの説明ボードを作成したところ、多くの方に興味を持っていただけました。（次の個展まで3年はあると思うので、展示で使いたい方がいれば、A4の説明ボードを差し上げます）



展示風景

ワークショップも鍋敷きと額の小作品の2種類を行ないました。額の方は2020年の4月に、岐阜県多治見市のモザイクタイルミュージアムで故曾根研氏と私の2人で講師を行う予定だったのですが、コロナ禍でワークショップは白紙となり、曾根さんは同年5月に急逝してしまった為、そのワークショップ用として準備していた額を使用して行いました。



展示風景

展示もワークショップも感慨深いものもありましたが、色々な意味で想像を超える方々がいて、大変刺激になりました。

コロナ禍であり梅雨の時期だった為、来場者が少ないかと思っていましたが、事の外大勢の方々にご来場いただきました。ご来場いただいたモザイク会議の方々、ありがとうございました。

## Mosaic for Afghan Women 活動報告

濱田麻里

昨夏にアフガニスタンでタリバンが復権し、事実上再び同国の女性達の権利や自由を厳しく制限すると表明したのを受け、世界のモザイク作家達が状況を危惧し女性達が将来平等な権利を獲得する事を願いモザイクで応援できないかとアイデアを出し合った所から、本プロジェクトが始まりました。私も、友人だった発起人と当初話し合った経緯から日本と周辺アジア国の取纏めを依頼され、お受けしました。女性だという理由だけで自分で努力し人生を切り開こうとするスタート地点に立てない人々が世界にいる事が実に気の毒で不公平であり何か出来ないかと以前から思っていた為です。この度、寄稿の機会を頂きましたので活動報告をさせていただきます。



プロジェクト海外本部提供のビジュアル資料

プロジェクトは具体的には、アフガニスタンの民族衣装からインスピレーションを得て 10 x 25 cm の小作品を作り SNS に作品画像を投稿。スカーフの形に統合して各国内で一時的展示や永続展示、ワークショップを行い、又ラヴェンナの展覧会で展示後、国連での展示も目指し、世界とアフガニスタンへ問題提議するという内容です。

モザイク会議運営委員会にご相談し、私個人からの発信として、日本ではモザイク会議内外の作家さん達にお声掛けし 27 人が参加、韓国人作家 4 人も加わり、計 41 作品を統合、5 月に東京で、6 月に京都で展覧会での展示とトークイベントが実施されました。プロジェクト参加者全員の思いが一つの作品となったのは意義のある



トークイベント





西垣敬子氏の講演会 (MOSAIC connections 2022 京都展)

事かと思えます。京都では30年近く40回以上アフガニスタンへ渡り、女性と子ども達の支援に尽力して来られた西垣敬子氏の講演会が実現。後日のオンライン配信も計画中です。

世界では現在まで約45か国1,000人が参加、小作品制作フェーズは6月位には終わり、今後は各国で展示が始まりますが、屋外設置が日本よりし易く、作品数も多い国では壮大な展示風景となる事が予想される等楽しみです。

日本でのプロジェクトも今後も続きますが、モザイクを介した社会問題提議、又、政治情勢、文化、宗教が絡む国際プロジェクトであり、ボランティア活動という事等についても学びを続け取り組んで行きたいと思えます。紙面スペースの都合で国内外関係者・組織等名称の記載はほぼ割愛する事をお詫びすると共に、展示、関連イベント実現に尽力頂いた全ての作家、関係者に深謝致します。



スカーフ作品展示風景 (MOSAIC connections 2022 東京展)

## 新入会員



河原拓巳さん

モザイクの関しての活動ですが、大学2年生の時に授業で大理石モザイク制作をしました。その時は浮世絵の模写をしました。卒業制作では当時のINAX（現リクシル）のアートクラフトモザイクタイルで金剛力士を制作しまして、数年後の日本芸術家協会主催のJAG展にて一般公募の部で銀賞を受賞いたしました。

今はユザワヤ芸術学院吉祥寺校でのタイルモザイクアート講座で講師をしております。基本的にはアートクラフトモザイクタイルでペットや肖像画の制作依頼を受けております。また杉並区のイベントを中心に子供達にクラフトモザイク（コースターやフォトフレーム）のワークショップをしてタイルモザイクを楽しんでもらっております。

一部作品や活動は私のwebにも掲載しております。どうぞよろしくお願いいたします。

<https://www.takumi-glass.com/>

## 会費についてのお知らせ

2022年度の会費(1万2千円)の納入をお願いいたします。

振り込み先

ゆうちょ銀行口座記号：10000 番号：97185511 モザイクカイギ

他銀行からの振り込みの場合は以下になります。

ゆうちょ銀行店名：008（ゼロゼロハチ） 店番：008

普通預金口座：97185511 名義：モザイクカイギ